

令和8年度 7月の補導活動

佐久市少年センター

1 街頭補導実施回数	15 回
2 延べ従事補導委員数	69 人
3 相談件数	1 件
4 補導した少年数	0 人
5 声かけ人数	292 人



7月の活動日誌から

7月1日（水） 街頭啓発活動（岩村田駅）

1, 4班（S・H）記

概要

私たちの暮らす佐久市は、豊かな自然に囲まれ、新幹線が通る利便性もあり、非常に暮らしやすい街です。しかし、時代の変化とともに子どもたちを取り巻く環境は大きく変わってきています。近年では、スマートフォンの普及による SNS 上のトラブルやデジタルリスクなど、大人の目に見えにくい危険が潜んでいます。こうした中で、青少年の健全育成を支える街頭指導や見守り活動の重要性を強く実感しています。

本年度からその補導委員として、夕方の時間帯に公園や駅、商業施設などを巡回し、子どもたちへの積極的な声かけを行う活動を行うこととなりました。今日は、7月から始まったあいさつ運動の一環として岩村田駅の前で、少年センターの職員と「おはようございます」と駅を利用する中学生・高校生に声をかけながら「闇バイト」に関してのチラシを配布しました。こちらから「おはよう」と声をかけることで、子どもたちに「地域が見守ってくれている」という安心感を与える大切なアプローチだと思いました。子どもたちから「おはようございます」と明るいあいさつが返ってきたとき、地域との繋がりが生まれているのだなと実感しました。



7月3日（金）

専門補導委員記

巡回経路 一本柳公園 → 若宮公園 → ボーリング場 → 近津南公園 → 浅間中学西横断地下道

活動の様子

今回の浅間地区での街頭補導活動は、専門補導委員のみだったため各公園の見回りの他にボーリング場への訪問活動や地下道に落書きがされていないかの確認等を行いました。

最初に一本柳公園の様子を見に行きましたが、少し早かったようで、その手前の道路を何人もの小学生が下校中でした。下校中の小学生は友達と話しながら、道路わきの草花を

見ながら、骨組みだけになった団扇を扇いでふざけ合いながら、帰り道が遊び場という感じでした。

ボーリング場を訪問したところ、大先輩方が楽しんでいましたが子どもたちはいませんでした。職員の方に少年の利用について話を聞くと、休みの日は中学生や高校生が友達同士で来てくれるそうですが、残念ながら全体的にはお客さんは減少しているようです。

近津南公園に行くと、小学生 10 人くらいが遊具などで遊んでいました。その中でルービックキューブを持ってきていた男の子は「考えなくても見ただけでできるよ」と言って、手が勝手に動くという感じで、あっという間に全面をそろえてしまう名人級でした。

最後に浅間中学校の西側にある地下道に落書がされていないか確認を行いました。壁面を見ると上塗り跡が沢山ありましたが、現在のものはありませんでした。色んな人が利用する場所なので今後も綺麗に使われて欲しいと思いました。

7月4日（土）

14 班（S・T）記

巡回経路 中込会館 → 駅前グリーンモール → 中央グリーンモール → 横町公園 → 佐太夫町公園 → 中込駅

活動の様子

中込地区の七夕祭りということで、中込商店街を中心に巡回しました。梅雨の真只中ではありましたが、天気にも恵まれ中高生を中心にそれなりの人出でした。祭りという独特の雰囲気の中、中込商店街を中心に商店街近くの横町公園、佐太夫町公園を利用している子どもの様子に注視しながら巡回しました。公園では、中学生や高校生に声掛けをしました。今回の巡回の中では、特に不適切と思えるようなことはありませんでした。



一点気になったことは、駅前の駐輪場の自転車が歩道にはみだして駐輪されていて、歩行者が歩道を歩くのが困難な状況だったことです。祭りでの一時的なことかなとも思いましたが、聞けば日常的に程度の差はあれ、歩道にはみだして駐輪されている自転車があるとのことで近くに保育園もあるので安全上の懸念があるように感じました。

7月6日（月）

17 班（I・K）記

巡回経路 臼田交番 → 切原児童館 → 佐久コスモホール → 稲荷山公園

活動の様子

今日は天候に恵まれた街頭補導活動となりました。最初に訪問した切原児童館は、臼田小学校の低学年 20 名位が利用していました。一部の小学生は、ミニバスケットボールを楽しんでいる光景が見受けられました。ちょうど入れ替えの時間のようで、児童館職員が「ドッジボールをする人」と、小学生に呼びかけを行っていました。また、本日は七夕が明日に控えているようで、入口の机の上に七夕の準備で竹と飾りつけの折り紙等が用意されていました。別の部屋では、七夕の飾りつけ準備がされているように見えました。

次の訪問先として、コスモホールに向かい到着しましたが、休館日だったので稲荷山公

園を訪問しました。公園では滑り台を親子で楽しむ姿が見受けられましたが、その親子は時間帯が午後4時半過ぎだったからだと思いますが帰っていきました。平日の、しかも夕方だったためなのか、土日のように沢山の方が楽しんでいる姿は見受けられませんでした。

次回は臼田よいやさがある月の8月なので、補導活動を頑張りたいと思います。

7月8日（水）

6班（H・S）記

巡回経路 大型スーパー → 砂田公園 → 市民交流ひろば →
佐久平スケートパーク → 佐久平駅 → 大型スーパー

活動の様子

梅雨明けを思わせるような晴天となり、気温も高く、各野外施設には多くの利用者が見られました。大型スーパーに集合の後、砂田公園へ移動して巡回を実施し、親子連れや中学生の利用者に声掛けを行いました。続いての市民交流ひろばでは、親子連れを中心に多くの家族が来場しており、インターネットの安全利用や注意について啓発活動を実施しました。さらに、佐久平スケートパーク（バスケットコート）では中高生がバスケットボールを楽しんでおり、休憩中の生徒らに対して声掛けを行いました。その後、プラザ佐久内のワークスペースや佐久平駅の小海線ホームを巡視したところ、学生や一般利用者など多くの人で賑わっていたため、利用状況を確認するとともに啓発活動を実施しました。最後に大型スーパーへ戻り、インターネット利用に伴うトラブルや犯罪被害防止を目的とした啓発チラシ入りチッシュを配布し、SNS利用時の注意点や個人情報の適切な管理について呼び掛けました。終始大きなトラブルや危険な状況は認められず、利用者からも協力的な応答が得られ、有意義な活動となりました。

7月10日（金）

11班（N・S）記

巡回経路 生涯学習センター → 取出町ふれあい公園 → 野沢児童館 →
東田公園 → 生涯学習センター

活動の様子

本日は、とても暑い日でした。公園には誰もおらず、草が生い茂っていました。野沢児童館には、とても沢山の子どもたちがおり、暑いせいか、室内で学習したり、遊んだりしている子どもが沢山いました。その中に私の孫がおり、まわりつながら一緒に施設内をめぐりました。生涯学習センターの2階では、子どもたちがとても静かに学習に励んでおりました。この暑さでは、外で遊ぶより室内で過ごしていた方が安全だと思いました。



7月13日（月） 学校訪問（東中学校）

2班（I・H）記

概要

曇天の下、青々とした稲田を眺めながら車を走らせ、学校訪問活動のため東中学校に向かいました。芝野校長先生、生徒指導主事の遠山先生がご出席され、補導委員、専門補導委員とで充実した意見交換ができました。まず、先生方から学校の教育方針や最近の生徒の様子などをご説明いただきました。生徒自ら課題を探して解決したり、地域のために自分たちは

何ができるかを考えたりする総合的な学習を、1～3年生が混在する縦割り班で行っているとのことでした。1学期の出来事としては、1年生の乗る自転車が車と出会い頭に衝突する事故が発生したとのことでした。また、SNSに関わる大きなトラブルは起きていないが、学校としては注意を払っているとのことでした。明日から2日間は、1年生が赤城山でキャンプ・宿泊学習を行い、今後は、2年生が職業体験学習を、3年生は進路についての三者面談を予定しているとのことでした。生徒たちが健やかに育つよう先生方が毎日努力されている姿に接し、補導委員として学校との連携を深めた活動を目指したいと思いました。



7月15日（水） 学校訪問（中込小学校）

専門補導委員記

概要

中込小学校を訪問させていただきました。教頭先生と生徒指導主事の先生から、学校の教育目標や重点を置いている教育活動及び児童の様子などのお話をさせていただきました。学校目標『ゆかしく かしく たくましく』の下、自ら課題を見つけ、自ら考え、自ら学ぶ子どもの育成をめざしているとのことでした。また、地域の皆さんとの連携を大切にしている、例えば、クラブ活動では地域講師の皆さんの協力を得ながら活動を進めているとのことでした。補導委員からは、校外生活での児童の様子を伝え、交通安全を含めて児童を見守っていることを話しました。専門補導委員からは、日ごろの補導活動での取り組みや児童の様子を伝えました。中込小学校区での地下道の落書き事案についても報告しました。懇談の中では、特に、子どもたちがSNSのネット被害に遭わないために、学校も補導委員も啓発活動が続けていることを確認しました。また、最近の自転車の交通ルールの厳格化が話題になり、小学生にも自転車の交通ルールをしっかりと教えることの重要性について話し合われました。



7月17日（金）

19班（S・H）記

巡回経路 望月支所 → 望月図書館 → 望月児童館 → 若駒児童公園

活動の様子

天気予報では雷雨が心配されましたが、天気急変はありませんでした。初めに、望月支所2階の望月図書館を見回りました。一般の方が数人利用していましたが、学習室には児童生徒の姿は見当たりませんでした。1階の待合場所で独り勉強をしている女子高校生に声をかけると、次の予定までここで時間を過ごしているとのことでした。次に、望月児童館を訪問しました。利用者名簿では70名を超える児童の利用があったようですが、訪問時は30名ほどの子どもたちが利用していました。昼の気温が35℃に迫る日で館内には暑さが残っていましたが、子どもたちは暑さなど関係なく遊びまわっていました。私たちと目が合うと、「こんにちは」と元気なあいさつが返ってきて、とてもさわやかでした。移動の途中、山道を行く中学生2人を見かけました。人気のない場所でしたが、一緒に帰

る友だちがいて少し安心しました。最後の若駒児童公園は、まだ昼の暑さが残るような気温だったためか幼児を遊ばせる親子連れの姿はありませんでした。下車して公園を見て終わりました。

7月18日(土)

2, 3班(A・N)記

巡回経路 浅間会館 → 中央公園 → 岩村田商店街 → 浅間会館

活動の様子

本日の岩村田祇園祭の特別巡回は、2・3班の合同活動で専門補導委員を含め5名で巡回をしました。朝から時々霧雨が降り、さほど暑くなく、神輿を担ぐ人たちにとって絶好の日和となりました。祇園祭でにぎわう商店街の横の中央公園に行きました。多数の子どもや大人が楽しそうに遊んだり、飲食をしたりしている中、小学校低学年男児3人がブランコで遊んでいました。近くに保護者らしき方が見えないので声をかけたところ、二家族で来ており、大人たちは少し離れた所で飲食をし、子どもたち同士で遊んでいるとのことでした。祇園祭のメインである岩村田商店街では、すれ違いが困難な程、賑わっていました。その中で市外の男子高校生3人が、夏の野球大会が終わり来てみたとのことでした。その3人は、静かに観ており、体育会系男子らしいと感じました。また、祭りの法被を着た女子中学生3人が、飲食しながら楽しんでおり、バスケットボールの



クラブチームが合同で神輿を作り、祇園祭に参加しているとのことでした。スポーツクラブのチーム同士が、対戦するだけでなく、祇園祭を通じて交流していることに、その意義を感じました。祇園祭の沿道の商店や個人宅では、テーブルやイスを出して観覧し、中には、通行人などのために提供している所がありました。この様に、祇園祭は地域の中になじんでいる伝統行事と感じました。

7月22日(水)

専門補導委員記

巡回経路 大型ゲームセンター → 大型ゲームセンター → 駄菓子屋

活動の様子

本日は専門補導委員のみで浅間地区の街頭補導活動を行いました。梅雨が明けたとたん連日猛暑日という天気で、補導活動のため車を走らせても外を歩いている人をほとんど見ない状況でした。

最初に訪問した大型ゲームセンターの駐車場は、今日は休日だっけと思えるほど車が駐車されていました。中をのぞいて見ると高校生が5・6人でメダルゲームを楽しんでいましたが、その他は、中高年の方々に、涼を求めて来ている感じを受けました。

次に訪問した大型ゲームセンターはクレーンゲームのみのためか、利用していた人はいませんでしたが、店の方に「もうすぐ夏休みになりますが、遅くまで遊んでいる子がいたら声をかけて欲しい」と依頼しました。

最後に、子ども達が遊んだり宿題をしたりすることができる、駄菓子店兼喫茶店を訪問すると、中学生が3人おり、その中の1人は、当たりくじ付きの駄菓子を買って「当たれー」と盛り上がっていましたが、よく見ると、当たったらまた買ったりをくり返していたようで、中身のラムネ菓子が食べきれずに山積みになっていました。その子に「しばらくの間おやつはラムネだけだね」と話しかけると「ラムネは好きだから大丈夫」と、ちょっとムキになりながらラムネ菓子を食べていました。大当たりが出るまで頑張れと言いたくなりましたが、「ほどほどにね」と声をかけて店を後にしました。

7月23日（木）

専門補導委員記

巡回経路 浅科支所 → 花火大会会場 → 交流文化会館浅科 → 浅科図書館
→ あさしな児童館

活動の様子

本日は、補導活動の前に、来月の花火大会に合わせて実施する補導活動場所の確認のため浅科総合グラウンドを訪れました。会場となるグラウンド周辺は、まだまだ日があることから静かでしたが、例年だと3万人の人出があるとのことなので、すごいにぎわいになるのだろうなと感じました。

次に図書館を訪問したところ、手前の交流文化会館のホール内に何か飾ってあるものが見えたので中をのぞかせてもらいました。飾ってあったものはスリッパを模った紙を絵馬に見立てて目標を書いて透明の板に張り付けてあり、まるでスリッパ絵馬が浮いているようでした。その後、図書館に移動し館内を見渡すと猛暑のためか先月と違って本や新聞などを読んでいる大人が沢山いました。その中で小学校2年生という女の子は、明日学校に行けば夏休みと、休みが待ち遠しい感じでしたが、女の子の隣にいたお母さんは大変という感じでした。

最後に児童館を訪問したところ、猛暑のため外で遊んでいる子はなく、中で遊んだり勉強したりしていたのですが、定員が80人のところ110～120人が利用し、部屋に入りきれない子はホールに置かれた長机で勉強していました。エアコンが一部の部屋にしかなく、また、定員以上の子どもが利用しているため館内は暑く、館長さんらが汗をかきながら対応している姿をみると、もう少し各児童館の利用者が平均になればいいなと感じました。

7月24日（金）

16班（D・Y）記

巡回経路 あいとぴあ → サングリモ（中込チャレンジ教室、中込図書館） → 中込会館 → あいとぴあ

活動の様子

令和に入るところから佐久市の不登校児は大きく増加し始め、県、国と比較しても多くなっているようです。不登校の理由は学校生活に対してやる気が起きないとか、生活リズムが合わないなどの訴えが多く、友人関係や教職員との関係に悩む子も多いようです。そんな子どもたちの居場所を作ろうと行政としてはいろいろな工夫、対応をしているようです。佐久市でもチャレンジ教室（教育支援センター）を設置し利用者を



募っています。そこで今回は中込のサングリモ内に7月から開設されたチャレンジ教室を訪問することとしました。あいにく時間外で利用者には会えませんでした。こうした対策によって不登校に悩む子どもたちが安心して居られる場所を確保することが、大人（親や先生）や行政、地域の責務なのではと思いました。

7月25日（土）

専門補導委員記

巡回経路 生涯学習センター → 野沢本町商店街 → 城山公園 → 原児童遊園
中嶋公園 → 生涯学習センター

活動の様子

野沢祇園祭に合わせて、野沢地区の夜間巡回を行いました。集合場所の生涯学習センターの駐車場は、8割ほど車両で埋まっていました。生涯学習センターの1階には、小学生7人、中学生4人、高校生3人がおりました。小学生と中学生の利用時間が既に過ぎていたので、施設の方と連携して早く帰宅するように声がけをしました。祇園祭の会場になっている野沢本町通りには夜店が並び、大勢の人たちでにぎわっていました。本通りから脇道に入り、城山公園に向かいました。公園内には所々に一般の方、高校生、中学生たちの集団がありました。高校生に声をかけると、特に困ったことはないとのことでした。中学生は、自転車で帰宅する途中のようでした。原児童遊園には、誰もいませんでした。中嶋公園には、高校生が2人、一般の方が1人いました。高校生には、帰宅が遅くならないように声をかけました。もう一度、野沢本町通りを巡回しながら、生涯学習センターにもどりました。今回は、祭り会場の他に、祭り会場周辺の公園等を巡回しました。城山公園は人が多かったのに比べ、中嶋公園にはほとんど人がいませんでしたが、人目を避けるようにして集まる高校生もわずかにいました。祇園祭のような特別なイベントがあるときは、青少年がトラブルに巻き込まれないように見守ることが必要だと感じました。

7月27日（月）

専門補導委員記

巡回経路 大型ゲームセンター → 大型ゲームセンター → 平根児童館

活動の様子

佐久市内の学校は夏休みになったことから、先週に続いて大型ゲームセンターを訪問してみたところ、平日の昼間でしたが、親や祖父母に連れてきてもらった小学校低学年の子がゲームを楽しんでいました。中でも魚釣りのゲームやメダルゲームが人気で、座る場所がないくらい賑わっていましたが、先週訪問した時にゲームを楽しんでいた中高年の方々は逆に少なくなった感じを受けました。

次に訪問したクレーンゲームのみの大型ゲームセンターは、機械などを入れ替え中だったことや、夕方に近い時間だったこともあり遊んでいる子はいませんでした。店の人と話をしたところ、昼間は多くの子どもが楽しんでいたとのことでした。

最後に平根児童館を訪問しました。午後5時近くで涼しくなってきた時間だったことから数名の子が庭でボールを蹴ったり、地面に描かれた線をまたいだり飛び越えたりして遊んでいました。職員の方に話を聞くと日中は50人くらいが利用していたそうです。また夏休み中は通常の日と比べると利用する児童は少なくなるが、先日のような猛暑が続くとエアコンの設置数が少ないので暑くて大変と、心配されていました。

7月28日(火)

12班(K・H)記

巡回経路 生涯学習センター → 取出町ふれあい公園 → 東田公園 → 原公園
→ 城山公園 → ビデオレンタル店 → 野沢多目的広場 → 野沢児童館

活動の様子

小雨の降る中での補導活動を始めました。天候のせい、ふれあい公園、東田公園、原公園、城山公園には人影が在りませんでした。ビデオレンタル店には一般客が数名だけで、小中高生の姿は見えませんでした。野沢多目的広場では、人工芝でサッカーを楽しんでいる12名のグループに声掛けしました。高校生5名、中学生6名と小学生1名のグループが初めてこの場所で出会い、一緒にゲームを楽しんでいるとのことでした。高校生が誘ったようで、曰く『少数より大勢の方が楽しいから』、誘われた小中学生曰く『僕もこんな高校生になりたい』とのことでした。昭和の時代にはこのような事象は無かったような気がして、心温まる思いがしました。この後、野沢児童館を訪問し、夏休みの利用状況を職員の方にお聞きしました。1日およそ100名の児童が利用、開館時間は7:30~18:00一日を通して利用する児童は、弁当持参とのことでした。訪問時は、全員で一生懸命お掃除をしていました。生涯学習センターに戻り、1階つどいの広場、2階学習室を巡回しました。1階のキッズエリアでは、子どもたちがゲームに興じていました。その他の机は、中高生と社会人の方が利用されていました。企業の方がSDG'sのアイディアサンプルを持って、高校生に使い道アイディアのリサーチをしていました。2階学習室では、いつも通りの静寂の中で25名の方が利用していました。その大半は高校生でした。

7月29日(水)

15班(I・K)記

巡回経路 野沢児童館 → 生涯学習センター

活動の様子

今年度、新設された野沢児童館を訪問しました。訪問時は、ちょうど全員での館内清掃時間で、児童らもモップやほうきを持って一生懸命に作業していました。「こんにちは」と声をかけると元気に声を返してくれました。夏休みの中、1年生33名、2年生26名3年生16名、4年生6名、6年生4名と総勢85名が利用していました。児童は、昼食を持参しており、遊戯室にブルーシートを敷いて全員で食べるそうです。この日は、館長と厚生員の2名で対応とのことでした。児童は、帰る際にお迎えを待つ者、直接塾に向かう者、歩いて帰る者と様々なようです。休みの期間でこれだけ利用者がいると、普段はもっと利用者が多いのではないかと感じました。他の児童館にも言えることですが、職員の大変さに頭が下がる思いです。生涯学習センターでは、入り口に3名の女子中学生がいたので声をかけると、「席が空くのを待っています」とのことでした。実際、中に入ると中学生、高校生で1階の学習スペースはいっぱいでした。2階には学習室があり、のぞいてみると熱心に勉学に集中し、励んでいました。男子学生に2階の利用人数を聞いてみると、「40名は居ると思います」とのことでした。この2名の学生は、佐久大学の1年生で看護の勉強をしているそうです。将来、看護師を目指しているとのことでした。彼らは地元から進学したそうで、今後も地元で活躍して欲しいと願うばかりです。

7月の活動を終えて 専門補導委員（O・M 記）

長野県の梅雨明けは昨年より 22 日遅い 7 月 20 日ということですが、晴れた日は猛暑のような気温で、皆さんも街頭補導活動に出ても外で遊んでいる子どもが少なく感じたのではないのでしょうか。

登下校の様子を見ますと、日傘を使っている子どもをよく見かけるようになりました。私は、日焼けしたほうが「風邪をひかない」とか「健康になる」とか言われた世代で、日傘を使う人は色んなことに気を使っている女性というイメージでしたが、今は、暑さ対策として日影を持ち歩く人というイメージに変わりました。

畑仕事をするときも、日焼けして当たり前から、焼きすぎは皮膚に良くないに変わってきていて、一緒に作業している人達も「日焼け止めが必要になってきた」と話していたため、自分も日焼け止めクリームを使うようにしようと決意し、妻と子どもに、どんなのを買ったか良いか聞くと「大リーグの大谷が宣伝している日焼け止めクリームをみんなで使いたいから 3 個ぐらい買ってきて」と言われ、ドラッグストアに行ったら値段をみたらビックリ、財布だけ涼しくなりました。

普段から外で仕事をしていて、日焼けしている者が今更塗ってもと思いつつ、せっかく買ったしと、顔などに塗って農作業をするようになりましたが、効果のほどは、もともとが日焼けしていたのでよくわかりません。